

CHAPTER 11 シートベルトの着用

「面倒だから」「自分は事故にあわないから」「事故にあってもきっと大丈夫だから」などと、シートベルトをおろそかにしていませんか。運転席や助手席ではほとんどの人がシートベルトを着用していますが、後部座席では、2人に1人程度しか着用していません。

車が事故にあったとき、体にかかる力はどの席も同じです。シートベルトをしていないことは、命にかかります。車に乗ったら、必ずシートベルトを着用する習慣を付けましょう。

シートベルトをしなないとこんな危険が

●車内各部への激突

ドア、窓ガラス、天井、座席など、車内のあちこちに体をぶつけることとなります。

●前の席に座っている人への加害

後部座席の人が前方に投げ出され、前席の背もたれや乗員に激突して、大きな被害を与えます。



●車外への放出

開いたドアから、あるいは窓ガラスを突き破って、車外に放り出され、道路に頭を打ちつけたり、他の車にひかれたりすることもあります。



！行動ポイント

すべての座席でシートベルトを正しく着用しよう！

シートベルトは正しく使わなければ効果がありません。座席に深く座り、ベルトがねじれたり、たるんだりしないように注意して、肩ベルトを肩にかけ、腰ベルトを腰の骨に巻くようにして固定します。

シートベルトが体に合わないなど、正しく着用できない場合は、ジュニアシートを利用するなど、適切な着用を心がけましょう。



CHAPTER 12 地域の活動への参加

皆さんが暮らす地域では、地域の人たちが自治会（町内会）や子ども会などをつくって、清掃活動をしたり、子どもたちの登下校の見守り活動をしたり、楽しい行事をしたりと、地域のためにいろいろな活動を行っています。

そうした活動が活発に行われると、地域の人たちのつながりが強くなり、暮らしやすい安全・安心な地域になります。

皆さんも地域の一員です。地域の人たちと一緒にいろいろな活動へ参加しましょう。



●どんなことができるかな？

- ・清掃活動などに積極的に参加して、地域の人たちと仲良くなりましょう。
 - 困った時に地域の人が助けてくれるようになります。また、人のつながりがある地域には、悪いことをしようとする人が近づきにくくなります。
- ・地域の良いところや自分ができそうなことを探してみよう。
 - 新たな発見があるかもしれません。地域のことを知れば、地域のために何かやりたいと思うようになるはずですよ。

Q あなたが暮らす地域のよいところを3つ書いてみよう

- 1
- 2
- 3

Q あなたが暮らす地域で自分ができそうなこと、やってみたいことを3つ書いてみよう

- 1
- 2
- 3

～安全・安心なまちづくりのために～

ゴミが散らかっていたり、落書きがあったりするまちは、犯罪が起こりやすいと言われています。地域の人たちで、きれいなまちづくりをしましょう。

日頃から、あいさつをするなどコミュニケーションをとり、活動に参加して、地域の人たちとのつながりを深めておくことが大切です。

